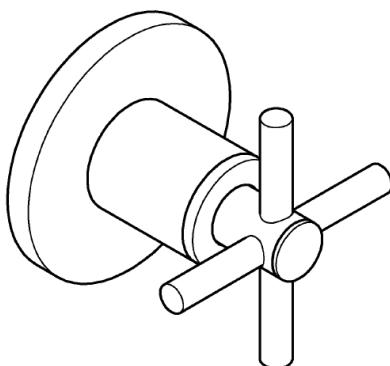


埋込ストップバルブ化粧部 取扱説明書 (お客様用)

- このたびは、GROHE製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書(付属の保証書)はお読みになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 転居される場合、次にご使用される方にこの説明書と別添の保証書をお渡しください。

工事店さまへのお願い

この取扱説明書と、別添の保証書に貴店名ならびに
取付日をご記入の上、お客様にお渡しください。



安全上のご注意	2
ご使用前に	3
特長	4
各部の名称	4
ご使用方法	4
冬期凍結の恐れがある場合	5
お手入れ方法	6
日常のお手入れ	6
定期的な点検	6
修理を依頼される前に	7
定期的な部品交換	8
アフターサービスについて	8

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

用語および記号の説明



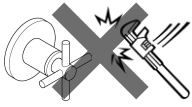
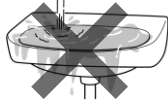

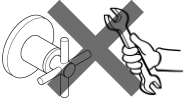

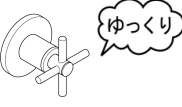

警告	「取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」		
注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」		
	「注意しなさい！」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)		
	「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)		「分解してはいけません！」
	「指示した場所に触れてはいけません！」		「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)

警告: ヤケドをしないために




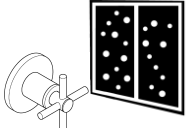
 禁止	小さいお子さまだけの使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをする恐れがあります。	
	他所の水栓と同時使用しないでください。 ※同時使用すると、圧力変動により湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。	
	給湯機器の温度設定は65℃以上で使用しないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。 なお、誤動作などによるヤケド防止のため、60℃給湯をおすすめします。	
 接触禁止	高温の湯をお使いのときには、吐水口は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。	
 指示	高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流して下さい。 ※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。	
	定期的に配管の漏水やガタツキが無いか確認して下さい。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
	ご使用時は水側から吐水してください。通水後、ゆっくり高温側へ調節し、必ず素手で適温であることを確かめてください。 ※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。	
	給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。 ※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。	

安全上のご注意

⚠ 注意: 正しくお使いいただくために

 禁止	水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。 ※商品の内部腐食により、漏水の原因になります。 ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水を言います。	水道水のみ OK 
	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
	オーバーフロー穴のないタイプの手洗器・洗面器と組み合わせる場合、あふれ防止のため吐水中はその場を離れないでください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
 分解禁止	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
 指示	ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
	めっき面のハガレはそのまま放置しないでください。 ※めっき面のハガレやキズでケガをする恐れがあります。	ハガレ 

⚠ 注意: 凍結防止のために

 禁止	凍結時に解氷機をご使用の際、水栓本体部には絶対に通電しないでください。 ※発熱により水栓内部の樹脂部品が破損し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
 指示	【一般地の場合】 凍結の恐れがあるときは、凍結予防の措置を行って下さい。 ※変形したり故障して、漏水の原因となります。 【寒冷地の場合】 配管と水栓の水抜き操作を確実に行って下さい。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

ご使用前に

- キャビネット内の止水栓が開いているか確認してください。
閉まっている時はハンドルを左に回し、開けてください。
※図は縦型止水栓で記載されておりますが、横型止水栓についても同様です。



給湯機器と組み合わせてご使用の場合

- 十分な機能を発揮させるため、給湯器の給湯温度は50℃以上60℃以下の設定をおすすめします。
ただしやけど防止のため、60℃を超えない設定としてください。
- 給湯温度が変わると温度調節ハンドルの設定がズレて、表示通りの温度の湯が出なくなる場合がありますので注意してください。
- 流量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
※市販の節水シャワーと組み合わせる場合は、あらかじめ給湯器の作動流量をご確認の上ご使用ください。

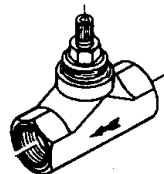
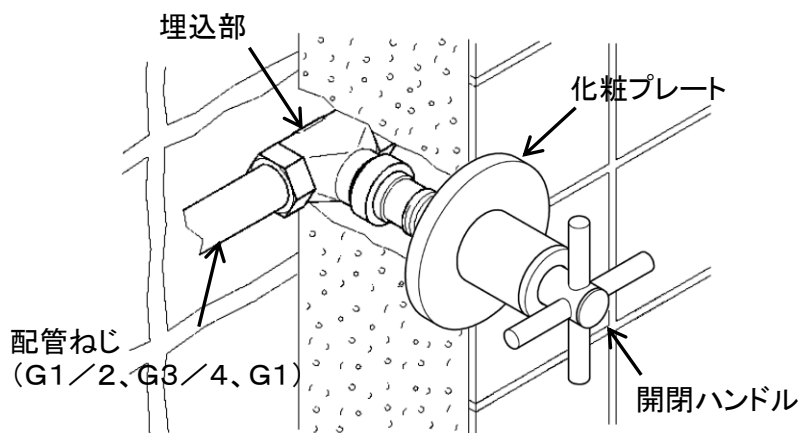
特 長

バルブ機構が水栓本体と別のカートリッジ方式となっている為、バルブの開閉機構(スピンドル)が磨耗しても、この部分を交換するだけで本体を交換する必要がありません。

各部の名称

化粧部

埋込部

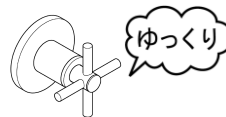


ご使用方法

注意

ハンドル操作はゆっくりと行って下さい。

※急激な操作をすると水栓または、配管部で音がでたり、吐水温度が急激に変わります。
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



開閉ハンドルとして使用(単独)

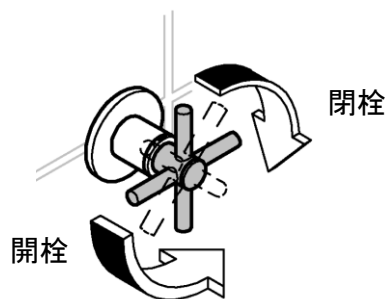
【開閉及び水量調整】

本体上部の開閉レバーハンドルを上下することにより、バルブの開閉及び水量調整を行うことができます。

- ハンドルを左側に回して → 吐出が始まります。
- ハンドルを右側に回して → 吐出が止まります。

注意

※ 2回転半、180°、90°、4回転半回転で全開です。
※ 埋込部によって全開する回転が違います。埋込部の品番を確認してください。



湯水ハンドルとして使用(混合)

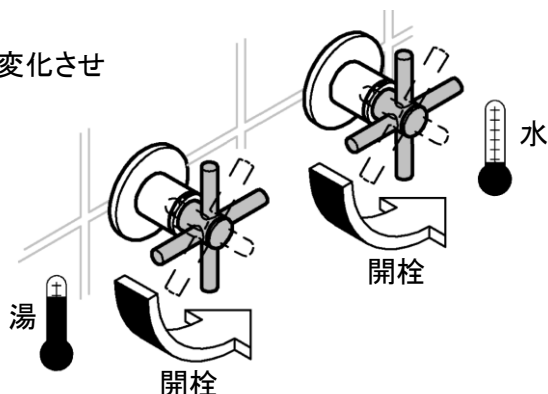
【温度調整】

湯水双方のハンドルを回すことにより、湯水の供給量の割合を変化させ吐水温度の調整を行ってください。

- 左側ハンドルを回して → 湯(高温)になります
- 右側ハンドルを回して → 水(低温)になります

注意

※高温をお使いになるときは、必ず水側ハンドルから回しその後ゆっくり湯側ハンドルを回して、お好みの温度に調整してください。



冬期凍結の恐れがある場合

凍結が予想される際は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。(一般地仕様の場合) 寒冷地仕様の場合は、配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行ってください。

※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

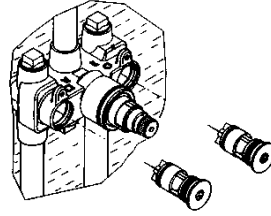
※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。破損の状況によっては有料の本体交換になる場合もありますのでご注意ください。

注意

凍結が予想される場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 水栓や配管部などに保温材を巻く。

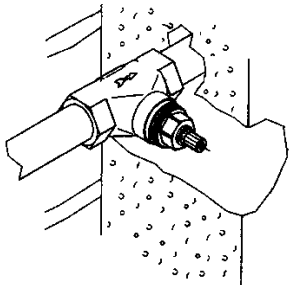
注意



サーモスタット混合栓との組合わせでご使用の場合は、サーモスタット混合栓の施工説明書と取扱説明書をご確認下さい。

寒冷地仕様の場合

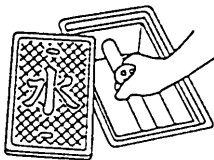
1. 逆止弁が付いていないことを確認してください。



3. 水栓の開閉ハンドルを開栓してください。



2. 屋外の給水栓を閉じ、不凍栓を開放してください。



注意

- ※水栓内の水は配管へ流し、ドレンバルブ等で開放してください。
- ※水抜けが悪い場合は、吐水口の整流器を外してください。
- ※冬期、水栓内部の水が凍結すると、本体部分および部品が破損する可能性がありますので必ず水抜きを実行してください。
- ※水抜き操作後は必ず水栓のハンドルを閉栓してください。

日常のお手入れ

本体表面のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- 汚れがひどいときは、適度に薄めた中性洗剤を含ませた布で、拭き取ってください。
そのあと水でぬらした柔らかい布でからぶきしてください。
- メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分水洗いしてください。

注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- ・クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤

※ヒビ割れや変色の原因となります。

まちがって使用した場合はすぐに水洗い等をし、柔らかい布でしっかり拭き取ってください。



定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

水栓のガタツキ(1カ月に1回程度)

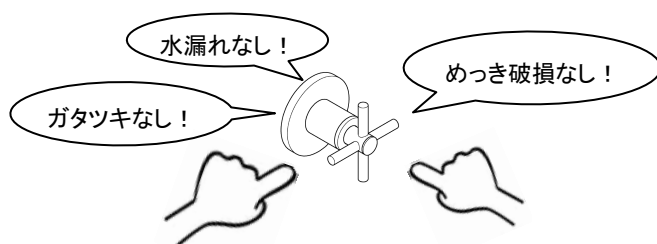
- ◎水栓のガタツキがないか確認してください。
ガタついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

めっき部分の破損(1ヶ月に1回程度)

- ◎めっき部分の破損がないか確認してください。
劣化・摩耗などによって生じるめっき表面の割れで、ケガをするおそれがあります。

配管まわりの水漏れ(1ヶ月に1回程度)

- ◎配管まわりの水漏れがないか確認してください。
部品の劣化・摩耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検をおこなってください。



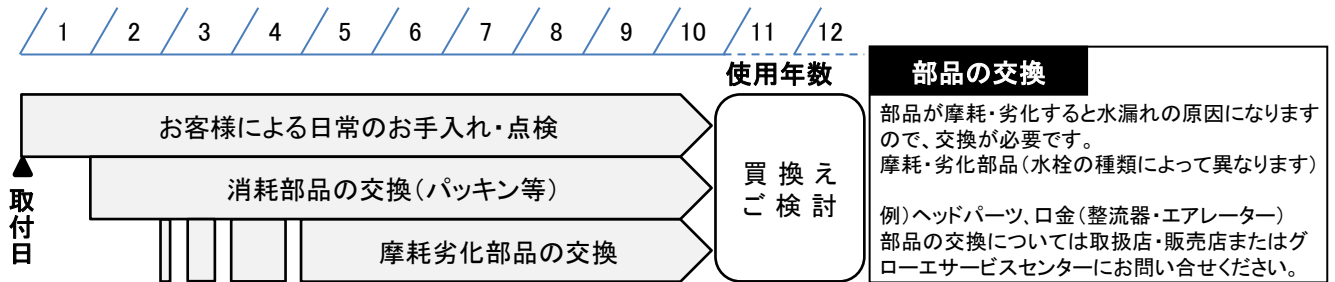
修理を依頼される前に

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
●吐水量が少ない (少なくなってきた)	①配管内のゴミが整流器(エアレータ)にたまってきた。 ②給湯器の温度設定が不適切である。	(1)吐水口先端の整流器(エアレータ)にゴミ詰りがないか確認してください。 ※吐水口、シャワーの取扱説明書をご参照ください。 (2)ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください。
●適温の温度調節がスムーズに出来ない	③配管内のゴミが整流器にたまってきた。 ④給湯器から十分なお湯がきていない。 ⑤水または、湯のいずれかの圧力(勢い)が強過ぎる。	(3)上記同様、整流器(エアレータ)にゴミ詰りがないか確認してください。 (4)給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。 ※ご使用温度+10℃以上にしてください。 (5)湯側・水側とも吐水量が同等であることを確認してください。 ※以下の方法で調整してください。 1. 湯側ハンドルをいっぱいに出し、湯側の止水栓で適量に調整します。 2. 水側ハンドルをいっぱいに出し、湯側いっぱいの位置の吐水量と同じか、または1.5倍位になるように、水側の止水栓を調整します。
●水の量が多すぎて使いづらい ●使用時に高い音がする	⑥水の圧力(勢い)が強過ぎる。	(6)上記と同様の方法で止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。
●完全に止水できない	⑦内部ヘッドパーツにゴミが付着、または破損している。 ⑧弁座にごみがつまっている、または破損している	(7)販売店、据付業者、またはサービスセンターに連絡してヘッドパーツを洗浄、または交換する。 販売店、取付工事店に連絡して弁座を洗浄、または交換する。
●ハンドル操作が重い	⑨回転部(セットナット等)に取付時のホコリが付着している。	(8)取付工事店に連絡してホコリを洗浄する。 ※埋込部のサイズが大きくなるほど、重く感じます。

※上記処置で故障が直らない場合は、取扱店、または当社サービスセンターへご相談ください。
 ※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

定期的な部品交換(部品は水栓の種類によって異なります)

◆定期的な点検・部品交換のめやす



補修用部品の供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。
なお、補修部品のご購入については取扱店・販売店またはグローエサービスセンターにお問い合わせください。

アフターサービスについて

◆修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、またはグローエサービスセンターに修理を依頼してください。

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

- 修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番(保証書または取扱説明書)
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問日

◆修理の依頼・お問い合わせは

グローエサービスセンター
0570-666-368

受付時間 平日9:30~17:30(受付・お問い合わせ)
平日夜間・土・日・祝日24時間(漏水等緊急時のお問合せのみ)

埋込ストップバルブ

品質確認実施工場	グローエジャパン(株) 検査試験室
認証登録番号	E-297
性能項目	耐圧性能、耐寒性能、水撃限界性能
特記事項	飲用使用範囲外設置品

本社 〒107-0061 東京都港区北青山2-11-3 A-PLACE青山6階
TEL 03-5778-7500 FAX 03-5775-7611

大阪営業所 〒541-0057 大阪市中央区北九宝寺町4-3-5 本町サミットビル3階
TEL 06-4708-6340 FAX 06-4708-6485

GROHE JAPAN ホームページ
<http://www.grohe.com/jp>

グローエジャパン株式会社

JPT95600